

フランス語 Web 教材の学習活動支援ツール

—写真描写問題とアクティブラーニング—

有富 智世* 喜久川 功**

常葉大学経営学部* 常葉大学社会環境学部**

A Learning Support Tool for French Learning Web Materials

—Active Learning Using Pictures—

Chise Aritomi* Isao Kikukawa**

Faculty of Business Administration, Tokoha University*

Faculty of Social and Environmental Studies, Tokoha University**

フランス語学習を支援する Web 教材を開発してきた。本教材の設計では、自主学習のみならず、授業での効果的な使用も考慮した。授業実践からその有用性が検証されたため、「能動学習のためのツール」の組み入れを図った。Web 教材には、文法・語彙等の養成と異文化理解を補う 7 種のコンテンツを置いている。そこで、これらを繋げて語学運用能力を高め、能動的学びを可能にする「写真描写問題」の考案に至った。本ツールの概要を示し、協働学習時に学習レベルに応じた活動が見込めることを呈したい。

キーワード: 外国語教育, Web 教材, アクティブラーニング, 学習支援, フランス語

1. はじめに

高等教育機関における初修外国語教育(フランス語)での効果的な学習方法の探究から、「紙媒体の教科書+Web 教材+e ポートフォリオ」の三位一体による学習環境の整備に取り組んできた。紙媒体の教科書(『なびふらんせ』)を制作し、これと連動させて学べる「Web〈なびふらんせ〉」(フランス語学習支援 Web 教材)の開発である(有富・喜久川 2012-2019)。本 Web 教材の設計では、自主学習のみならず、授業での効果的な使用にも配慮した。授業実践からその有用性が検証されたため、本 Web 教材に「能動学習のためのツール」の組み入れを図るに至った。本稿では、新たに考案した「写真描写問題」の概要および運用を示す。

2. Web 教材の概要

フランス語の教科書と連動させて学べる Web〈なびふらんせ〉には、基礎と応用の各教科書(全 12 課)の文法内容に対応した 12 課を設置し、各課に「学習コンテンツ」と e ポートフォリオ直結の「テスト」を設け

た。「学習コンテンツ」には、【文法】【文法練習問題】【語彙と表現】【動詞活用】【動詞活用練習問題】【写真と動画】【資料】があり、学習者は予習・復習で各コンテンツを利用する。授業時にも導入することで、効果的かつ効率的な学習が見込める教材となっている。したがって、学習者は[図 1]のように、授業内外で学習を継続していく。

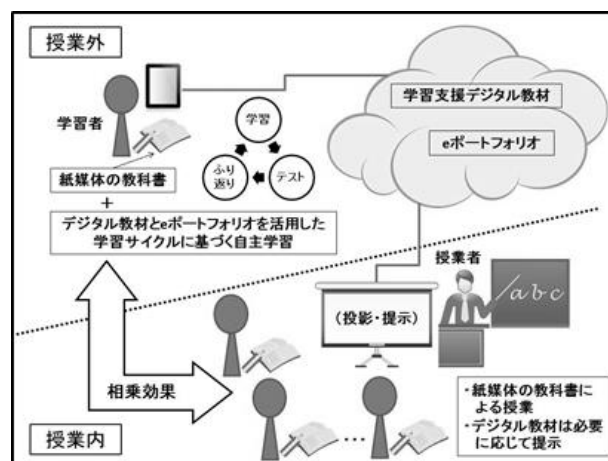


図1 学習スタイルのイメージ

Web 教材制作に当たり目標に挙げたことは様々あるが、学習者と教員の双方を支援し、特に以下の内容を包括する教材の質的保証に思慮した。

- (1)授業内での学習と授業外の予習/復習を支援
- (2)e ポートフォリオ搭載
- (3)多様な教科書と併用可能な教材（汎用性の重視）
- (4)PC/スマートデバイスの双方で対応可能な教材
- (5)語学学習と異文化理解を絡めて学べる教材
- (6)“読む・書く・聴く・話す”の4技能(総合力)養成
- (7)協働学習・能動学習を支援する教材

このようにしてフランス語文法の基礎力養成に照準を合わせた教科書・教材開発を探究してきたが、改めて上記(5)～(7)の課題を問い直した結果、語学の総合力を養成し得る教材（協働学習・能動学習を支援する教材）の開発が必要との考えに至った。Web 教材の「総合問題」の利用で、語学運用能力を測れる設計だが、授業時間内での「教え合い・学び合う」協働学習に適合する教材支援ツールが加われば、学習教材としての質的向上が期待できると思われる。

3. アクティブラーニングのために

3.1 フランス語運用能力の養成と教材のあり方

Web 教材開発の当初より、教科書では紙面上の制限から多くの現地写真/資料の掲載が難しいことを踏まえ、Web 教材の【写真と動画】および【資料】の充実を図ってきた。語学の学びを異文化理解と共に涵養することは重要である。そこで、学習した文法基礎知識、語彙力、表現力、文化等の学びを絡め、協働学習において語学運用能力を総括的に問える教育教材の形を検討した。

3.2 学習活動支援ツール：「写真描写問題」

近年、アクティブラーニングの有効性が謳われている。一斉授業の形態では、限られた時間内に学習者の理解を揃えて着実に学ばせていかなければならない。授業に協働学習を導入の場合、「教材の質やあり方」に依っては、学習時間のバランスは崩れ、学習効果も半減する。そこで、教科書と Web 教材で学んだ〈文法〉〈語彙と表現〉〈異文化理解〉を統合して「表現する力（技能）」を高め、協働学習において柔軟に適合させることができる教材の形態を探った。その結果、Web 教

材の学習コンテンツを利用した「写真描写問題」の考案に至った。これは、文法力や語彙力を駆使し、文化的知識（異文化理解）も反映させて【写真と動画】から選択した「写真」（1~4 枚）をフランス語で説明（描写）するという課題である。いわば仏作文とフランス語による口頭発表で、学習した知識を統合させながらグループで演習に取り組む。「教え合い・学び合う」協働学習の中で語彙力・表現力が学習者間で補完され、「書く」力が養われる。さらに、作成した説明文、会話文、ストーリー等をグループ毎に提示して相互に「読み」、声に出して「話す」力（伝える力）も養う。各グループの発表は「聴く」力を試すことにも繋げられる。

[1]



[2]



[3]



[4]



図2 写真の選択例

[図 2] で 4 枚の写真を挙げたが、「写真描写問題」では、写真選定者および選定枚数は必要に応じて柔軟に変更できるものとした。

- ・写真の選定①：学習者（各グループ）で選定
- ・写真の選定②：教員が予め選定
- ・写真枚数：学習レベルに応じて 4 枚まで選定可

また、Web〈なびふらんせ-1〉は「パリをめぐる」、Web〈なびふらんせ-2〉は「フランス世界遺産をめぐる」という教科書テーマに対応している。両 Web 教材の ID は共通のため、学習者は Web 教材間を簡易に行き来することが可能である。文法や語彙の学習範囲を見渡しつつ学びの再検証を行い、首都パリとフランス各地の写真や文化に関する資料を参照して課題と取り組むことになる。したがって、本 Web 教材に組み入れられた「写真描写問題」は、語学学習の総合的課題支援ツールとして有用と見なせるのではないか。

3.3 「写真描写問題」の活用例

以下に、学習レベルに応じた「写真描写問題」の活用例を挙げておく。

○学習レベル 1 の場合：

図 2-4] の写真について、フランス語で説明する
C'est un camembert. (それはカマンベールです)

○学習レベル 2 の場合：

図 2-3] の写真で「会話文」を作成する
A: Bonjour, Monsieur! (こんにちは)
B: Bonjour, Madame! (こんにちは)
A: Un camembert, s'il vous plaît.
(カマンベールをください)

○学習レベル 3 の場合：

図 2-1]~[3] の写真を用いて「過去の出来事」あるいは「未来（今後の予定）」を語る
※文法力と語彙力を統合して「ストーリー」を作成

○学習レベル 4 の場合：

図 2-1]~[4] の写真を用いて「パリのマルシェ」または「フランスのチーズ」について解説する
※【資料】の現地パンフレットや地図等を活用し、「ナレーション」の作成
※異文化理解・文法力・語彙力・表現力を統合

3.4 「写真描写問題」と「クラス設定機能」

ここでは、Web 教材に「写真描写問題」をどのように位置づけ、組み入れを図るのかについて概要しておく。本教材は [図 3] のトップページに設置の「総合問題」を入口とし、「ポートフォリオ」の運用のために搭載した [図 4] の「クラス設定機能」を応用して稼働させる。「クラス設定機能」は、教員が Web 上で担当の学習者をクラス毎に分類し、自主学习状況や理解度の確認が可能となるよう設定した機能である。これを用いて [図 5] のように各クラス内でのグループ管理に活用する。



図 3 Web 教材のトップページ

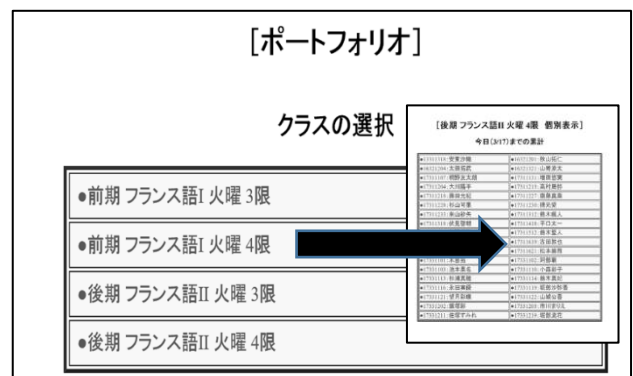


図 4 クラス設定機能

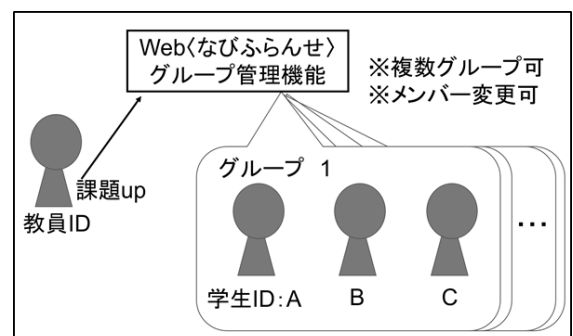


図 5 グループ管理機能のイメージ

Web教材の使用には、「学生ID」か「教員ID」の登録を義務付けている(IDにはメールアドレスを使用)。課題の提示/提出にはメール送信機能を用い、授業時には、グループ管理機能を用いて各グループの課題作成状況を分割画面でスクリーンに提示する(1グループの掲示から複数グループの一斉掲示まで切り換えで対応)。また、ペン機能を用いて仏作文の添削を行い、クラス全体で効率よく学びを共有することも可能である。

4. おわりに

基礎フランス語文法の総括的理解度を高め、語学運用における総合力(読む・書く・聴く・話す)を養成するために、授業内での能動学習を支援する「写真描写問題」の考案に至った。今後の課題は、実用化に向けて試作と授業実践を重ね、授業内で効果的な使用が見込めるよう、操作性および利便性を高めていきたい。

最後に、授業外でのグループワークや個別指導にも対応可能な設計を視野に入れ、開発を進めていくことを追記しておく。

謝辞

本研究はJSPS 科研費 18K00759 の助成を受けた。

参考文献

- (1) 有富智世, 喜久川功: デジタル教材「Web〈なびふらんせ〉」(2012-2019), <http://navifr.sz.tokoha-u.ac.jp/> (参照日 2019年10月10日確認)
- (2) 有富智世, 喜久川功, 黒田恵梨子, 田母神須美子, 服部悦子: 『なびふらんせ1ーパリをめぐるー』, 株式会社朝日出版社 (2016)
- (3) 有富智世, 安藤博文, 内田智秀, 喜久川功, 服部悦子: 『なびふらんせ2ーフランス世界遺産をめぐるー』, 株式会社朝日出版社 (2019)
- (4) 有富智世, 喜久川功, 服部悦子, 山田敏之: フランス語教育の可能性ー教科書『なびふらんせ1』とデジタル教材「Web〈なびふらんせ-1〉」ー, 関西フランス語教育研究会 RENCONTRES 30, pp. 10-14 (2016)
- (5) 有富智世, 喜久川功: 初修外国語教育におけるeポートフォリオ活用モデルの提案, 日本教育工学会第32回全国大会講演論文集, pp.643-644 (2016)
- (6) 有富智世, 喜久川功, 安藤博文, 内田智秀, 服部悦子, 山田敏之: フランス語教育とデジタル教科書, 関西フランス語教育研究会 RENCONTRES 31, pp. 57-61 (2017)
- (7) 有富智世, 喜久川功: 初修フランス語教科書に対応の学習サポート・デジタル教材ー学習コンテンツ“総合問題”のリスニングー, 日本教育工学会研究報告集, JSET 17-4, pp. 135-138 (2017)
- (8) 有富智世, 喜久川功: フランス語の基礎力検証に有効なデジタル教材のeポートフォリオ, 日本教育工学会研究報告集 JSET18-4, pp. 49-52 (2018)
- (9) 喜久川功, 有富智世: 初修フランス語のデジタル教材における学習活動支援「メッセージ機能」の設計, 教育システム情報学会第43回全国大会講演論文集, pp. 179-180 (2018)
- (10) 有富智世, 喜久川功, 安藤博文, 内田智秀, 服部悦子, 山田敏之: 授業内学習と自主学習を活性化する学習支援ツールの一体化ーデジタル教科書・デジタル教材・eポートフォリオ・教材ダウンロードー, 関西フランス語教育研究会, RENCONTRES 32-2, pp. 11-15 (2018)
- (11) 有富智世, 喜久川功, 安藤博文, 内田智秀, 服部悦子, 山田敏之: フランス語教育におけるデジタル教材の活用ー授業実践報告と展望ー, 関西フランス語教育研究会, RENCONTRES 33, pp. 57-61 (2019)